

令和4年度第3回府中町廃棄物減量等推進審議会会議録

- 1 会議年月日 令和5年3月2日(木)
- 2 会議場所 安芸府中生涯学習センターくすのきプラザ 2階 研修室
- 3 出席者 (8人)
会長 三浦 浩之
副会長 穴戸 篤
委員 本田 誠治
委員 野田 陽子
委員 中尾 幸子
委員 増原 稔則
委員 川上 普子
委員 品川 朋之
- 4 欠席者 (3人)
委員 根木 文彦
委員 中畑 裕子
委員 山重 洋子
- 5 議 事 1) 府中町ごみ処理基本計画の改定について
- 6 説明のため会議に出席した者
- 7 職務のため出席した者
町 長 佐藤 信治
町民生活部長 森本 雅生
環境課長 砂崎 勇介
環境課主幹 大神 規正
環境課主幹(環境センター所長) 梶山 睦生
環境課課長補佐 相原 一夫
環境課課長補佐 三村 正義
環境課主事 佐藤 圭亮
環境課主事 藤井 雅

8 議事の概要

< 午前9時30分 開会 >

1) 府中町ごみ処理基本計画の改定について

◇府中町ごみ処理基本計画改定(案)について

資料1 府中町ごみ処理基本計画改定(案)

- ・三浦会長 府中町ごみ処理基本計画改定(案)については、11月に第2回審議会を開催し、

そこでの意見を反映して作成してもらった。その後、議会への報告、パブリックコメントにより町民の方にも内容を確認していただいた。それらを受けて最終調整したのが、お手元にある案となっている。

前回の議論を経て、その後どのように修正されたのかを中心に事務局から説明をいただき、確認していきたい。

- ・事務局（大神主幹） 令和4年12月28日（水）から令和5年1月31日（火）までの期間でパブリックコメントを実施したが、意見の提出はなかった。パブコメページの閲覧数は173件、訪問数は135件であった。

前回審議会以降の主な修正箇所を中心に説明する。

（資料1の説明）

資料1の質疑、意見

- ・三浦会長 今説明のあった府中町ごみ処理基本計画改定（案）について、最終段階ではあるが、ここは表現を変えた方がよい等がありましたら、意見をいただきたい。

この段階なので、抜本的にというのは難しいと思うが、内容的に若干修正した方がよりよいということがあれば、意見をいただきたい。

あるいは、内容を確認したいということでの質問でも結構です。

- ・三浦会長 今回は案として出ているが、案が取れる段階で表現等を変更する部分はあるか。
- ・事務局（大神主幹） 表紙の策定年月の修正と、資料編の審議会答申書のページは、これから審議いただき、答申いただいたものを載せる。
それ以外については、この最終案で決定したいと思っている。

- ・品川委員 最近、メーカーやスーパーなどの事業者が主体となって、ペットボトルやプラスチック容器の回収を大々的に始める動きがある。海洋プラスチック問題にも関連し、事業者主体の取り組みになるが、そういった動きが今回の計画に書いてあれば、教えていただきたい。

- ・事務局（大神主幹） プラスチックごみについては、海洋プラスチック問題、プラスチック資源循環の法整備等もあり、これから動きがどんどん出てくると思っている。

計画では、まず町による新たな分別収集品目の拡充として、取組番号11「プラスチック類資源化の推進」を掲げている。特に進めていく必要があるため、「実施に向けた具体的な調査・検討を進める」としている。

次に、スーパー等での事業者による自主回収については、多様な資源回収方法の一つとして、取組番号10「事業者と連携した資源回収拠点の普及」において、事業者と連携して店頭回収の普及、利用促進を図っていきたいと考えている。

最後に、説明の順番が逆になったが、排出抑制が一番重要である。取組番号1「リデュース（排出抑制）の推進」の必要な取り組みの一つとして、不必要なプラスチックの使用削減を掲げている。商品を提供する事業者、消費者に向けて、意識啓発、働きかけをしていきたいと考えている。

- ・三浦会長 そのほかありますか。

（なし）

- ・三浦会長 それでは、以上で府中町ごみ処理基本計画改定（案）の最終確認としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

（異議なし）

- ・三浦会長 それでは、府中町ごみ処理基本計画改定（案）の審議を終了します。
次に、これを踏まえて答申書について確認していきます。

◇答申について

資料２ 答申書（案）

- ・三浦会長 今回の計画改定については、答申書（案）の冒頭にも書いてあるように、令和４年１１月２５日付けで町長から諮問を受けている。このため、本審議会では答申する必要がある。これまでの審議を踏まえて作成したが、お手元の答申書（案）となっている。これを、今回確定し、この後、町長に答申するという流れになる。
- ・事務局（大神主幹） これまでいただいた意見等を踏まえ、審議会としての意見を取りまとめた。

（資料２の説明）

資料２の質疑、意見

- ・三浦会長 内容について、何かご意見ありますでしょうか。
（なし）
- ・三浦会長 ないようでしたら、この答申書（案）を「府中町ごみ処理基本計画の改定について」の答申書とし、町長に答申しようと思いますが、よろしいでしょうか。
（異議なし）

◇三浦会長 それでは、これを当審議会の答申と決定いたします。

答申の準備をしますので、しばらくお待ちください。

（町長入室）

◇三浦会長 令和５年３月２日、府中町長 佐藤 信治 様

府中町廃棄物減量等推進審議会、会長 三浦 浩之

府中町ごみ処理基本計画の改定について（答申）

令和４年１１月２５日付け府環発第２３２号で諮問がありました府中町ごみ処理基本計画の改定について慎重に審議を行い、結論を得ましたので答申します。

答申

府中町ごみ処理基本計画改定（案）について当審議会において調査及び審議を行った結果、適切であると判断します。

なお、審議の過程における主な意見を付しております。

計画の改定及び推進にあたっては、当審議会の意見等に十分配慮され、今後の計画推進に努められることを要望します。

（ 答 申 ）

- ・三浦会長 それではここで、佐藤町長から一言ご挨拶がございます。

(町長挨拶)

・三浦会長 ありがとうございます。

今回かなりの意見を出していますが、答申書の最後に「新しい課題に対して柔軟性・迅速性をもって、総合的かつ計画的に取り組みを推進していく必要があります。」というのを入れています。

この当初の計画ができてから、社会情勢も本当に変化をしています。

そういった中で、計画というのは、その時の社会情勢を踏まえたものとはなっていますが、これまでなかったような情勢の変化が起きたときにも、しっかり対応していかなければいけません。

あまり組織とか対応について硬直化せず、何を目指していたかという部分をしっかりとらえて、そのために何をすべきかを考えて、進めていただければと思います。

それは決して、行政が孤軍奮闘するわけではなく、住民とともに、事業者とともに、一体となってやっていくことだと思っています。そのあたりのことを文末に書かせていただいていますので、私たち審議会メンバーの思いをしっかり受けとめていただければと思います。よろしくお願いいたします。

<午前 10 時 15 分 閉会>